

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 配布物は、この問題集のほか、答案用紙 1 枚です。
2. 解答時間は **2 時間** です。
3. 定規は以下のものが使用できます。各自携行のものを使用し、指定したもの以外は使用しないでください。
直定規 1 本、直角三角定規($45^\circ - 45^\circ - 90^\circ$) 1 枚
4. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は、**鉛筆又はシャープペンシル**を用いて濃くはっきり記入してください。記入は、フリーハンドでも構いません。
 - (イ) 表紙の各欄にそれぞれ該当事項を記入してください。
 - (ウ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の余白部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
5. 下書き用紙(方眼紙)はこの問題集の**中央部**にとじ込んであります。**試験官の指示**に従って、**試験開始後に**問題集から下書き用紙だけを慎重に**引きはがして**使用してください。なお、誤って問題集を破損しても、問題集の交換はできませんので注意してください。
6. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
7. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集及び下書き用紙の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集から**下書き用紙以外**を切り取ったり、問題を転記したりしないでください。
8. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	建 築		

指示があるまで中を開いてはいけません。

設計課題

「多くの市民が来訪する事務所」

以下の内容を踏まえ、要求図書を答案用紙の所定の解答欄にまとめよ。

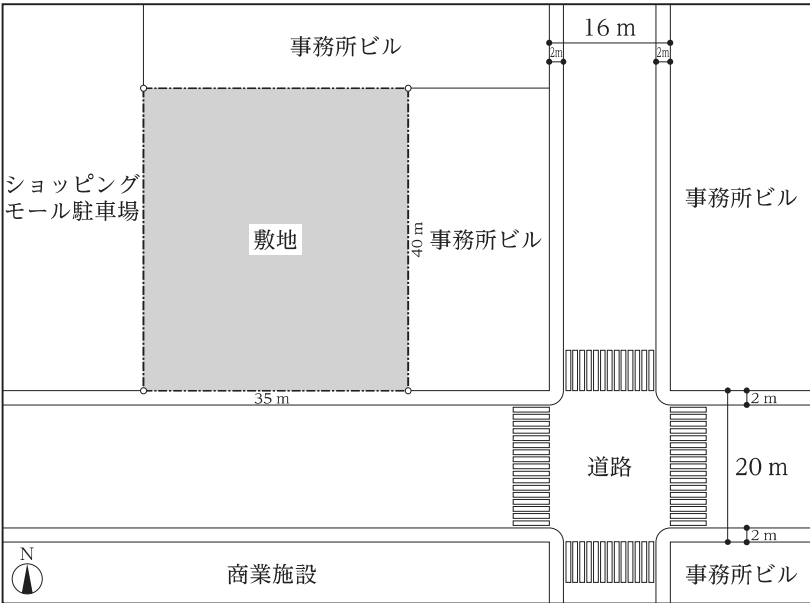
〔Ⅰ．設計条件〕

ある地方都市の幹線道路沿いに、国の出先機関の事務所を整備することとなった。この事務所には、二つの課が入居を予定しており、また、多くの市民が来訪することが見込まれている。

本課題では、以下の条件に基づき、多くの市民が来訪する事務所の設計を行う。設計に際しては、利用者の利便性や敷地周辺の環境などに十分配慮し、設計条件に記載のない条件等については各自で想定して解答すること。

1. 敷地及び周辺の条件

- (1) 敷地及び周辺の状況は、敷地周辺図のとおりである。
- (2) 敷地は平坦で、周辺との高低差はない。
- (3) 歩道の切り開きは、1 か所当たり 6 m までできる。
- (4) 建蔽率の限度は 60 %、容積率の限度は 200 % である。
- (5) 高さの制限及び日影規制は考慮しなくてよい。
- (6) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
- (7) 地盤は良好であり、基礎についての特別な配慮は必要ない。
- (8) 気候は温暖であり、積雪についての特別な配慮は必要ない。



敷地周辺図

2. 建築物

- (1) 地上 2 階建て、1 棟とし、構造種別は鉄筋コンクリート造のラーメン構造とする。
- (2) 経済性に配慮し、床面積の合計が大きくなり過ぎないように計画する。
- (3) 建築物内は 2 方向避難経路を確保する。また、バリアフリーに配慮する。
- (4) 共用エリアは、A 課と B 課のどちらも使用できるよう計画する。
- (5) 要求室等及びその条件は下表のとおりであり、全て設計に含めること。

区分	室 名	床 面 積	特 記 事 項
A 課	事務室 A	約 150 m ²	・多くの市民が来訪し、行政手続や証明書発行などを行う。
	書庫 A	約 30 m ²	・事務室 A に隣接して設け、直接出入りできるようにする。
	専用会議室 A	約 30 m ²	
B 課	事務室 B	約 50 m ²	・総務などの業務を行っており、基本的に来客はない。
	書庫 B	約 20 m ²	・事務室 B に隣接して設け、直接出入りできるようにする。
	専用会議室 B	約 20 m ²	
	所長室	約 30 m ²	
共用 エ リ ア	共用会議室	約 80 m ²	・ A 課と B 課が同程度の頻度で使用する。 ・ A 課は、不定期に、市民向けの説明会会場としても使用する。
	更衣室	約 30 m ²	・男女別にそれぞれ約 15 m ² ずつ設ける。
	エントランス ホール	適宜	・風除室を設ける。
	トイレ	約 30 m ²	・各階に男女別トイレ及び車椅子使用者用トイレを設ける。
	エレベーター	適宜	・ 1 基設ける。
	設備機械室	約 60 m ²	・設備機器の搬出入に配慮する。
・その他必要と思われる室、什器等 ^{じゅう} があれば、適宜計画してもよい。 ・トイレ内の詳細な平面及び各種設備機器は、 <u>記入しなくてよい</u> 。			

3. 屋外施設

- (1) 敷地内は歩車分離を確保する。
- (2) 屋外施設及びその条件は下表のとおりであり、全て設計に含めること。

屋外施設名	特 記 事 項
駐車場	・普通自動車用として 5 台分以上の駐車スペース(1 台当たり幅 2.5 m × 奥行き 5.0 m)を設ける。 ・車椅子使用者用として 1 台分の駐車スペース(幅 3.5 m × 奥行き 5.0 m)を設ける。
駐輪場	・ 20 台以上の駐輪スペース(1 台当たり幅 0.5 m × 奥行き 2.0 m)を設ける。
・その他必要と思われる屋外施設、スペース等があれば、適宜計画してもよい。	

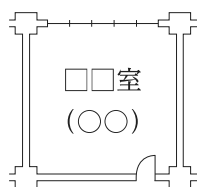
〔Ⅱ．要求図書〕

下記 1., 2. の要求図書を作成せよ。

1. 図面及び面積表

下表に従い、要求図面等をそれぞれ作成せよ(フリーハンドでもよい)。なお、必要に応じて、図面中及び余白部分に補足説明、スケッチ等を書き込んでもよい。

要求図面等	特 記 事 項
(1) 配置図兼 1 階平面図 (2) 2 階平面図 (縮尺は共に 1 : 200)	・各平面図には、次の①～④を図示又は記入する。なお、③，④は、下記記入例を参考に記入すること。 ①柱、壁、窓、出入口等(それぞれの違いが分かるように記入する。) ②建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の算出に必要な程度。) ③全ての室の室名 ④要求室の床面積(床面積が適宜とされている室を除く。) ・配置図兼 1 階平面図には、屋外施設、通路、囲障、植栽等を記入する。 ・2 階平面図には、1 階の屋根、^{ひし}底 等となる部分を記入する。
(3) 面積表	・1 階及び 2 階の床面積(算定式を含む。)並びにその合計を記入する。 ・床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外廊下(外気に有効に開放されているものに限る。)、屋外階段及び屋上設備スペースは、算入しない。ただし、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入する。



室名及び床面積の記入例

(○○ m² の□□室の場合)

2. 設計主旨

配置計画、外構計画、平面計画、構造計画、設備計画、環境負荷の低減等について、設計において特に配慮した点を分かりやすく三つ箇条書で記述せよ。

G1-2024

建築

専門(記述式)

試験問題

[設計製図]

答案用紙

多くの市民が来訪する事務所

1. 図面及び面積表 (方眼は5.0mm目です。)

隣地境界線 (35 m)

隣地境界線 (40 m)

道路境界線 (35 m)

隣地境界線 (40 m)

(1) 配置図兼1階平面図 縮尺 1 : 200

(3) 面積表

1階床面積：(算定式)	計	m ²
2階床面積：(算定式)	計	m ²
床面積の合計：	計	m ²

(2) 2階平面図 縮尺 1 : 200

2. 設計主旨

